

HA. 健康(医療・健康)(DVD)

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
	●	HA2009-007	B-3	きょうの健康 もう悩まない！めまいの新対策 なぜ起きる 症状と診断	めまいは耳の病気であることのサインが7割、脳の病気のサインであることが2割を占める。しかも命にかかわる病気の場合もある。めまいの症状と診断について、東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科の山本昌彦さんが解説する。(山本昌彦)	15
	●	HA2009-008	B-3	きょうの健康 もう悩まない！めまいの新対策 耳鳴り・難聴を伴うとき	耳が原因でめまいを起こす病気の中で、耳鳴りや難聴を伴うメニエール病と突発性難聴についてその症状や診断、治療法について、東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科の山本昌彦さんが詳しく解説する。(山本昌彦)	15
	●	HA2009-009	B-3	きょうの健康 もう悩まない！めまいの新対策 突然起こる強いめまい	めまいを起こす病気の中で耳鳴りや難聴を伴わない、良性発作性頭位めまい症と前庭神経炎について解説する。また、めまいを起こす病気の1つの原因が、生活習慣に関係しているということで、日常生活の注意点や予防法の運動を紹介する。(山本昌彦)	15
	●	HA2009-010	B-3	きょうの健康 Q&A もう悩まない！めまいの新対策	めまいは命にかかわる病気につながるものもある。めまいの原因は7割が耳からくる病気で2割が脳からくる病気である。Q&Aでは特に耳の病気からくるめまいについて視聴者の相談に答える。生活ビタミンのコーナーでは、お風呂場や押し入れのカビ対策を紹介する。(松岡きつこ・山本昌彦)	44
	●	HA2011-001	B-3	きょうの健康 食で健康づくり！ おいしく食べよう“減塩”メニュー	1日の食塩摂取量は、男性で9グラム未満、女性7.5グラム未満が目安。しかし、日本人の1日の食塩摂取量の平均は目安を上回っているのが現状だ。塩分の取りすぎは、脳卒中や胃がんのリスクを高める。健康づくりのための減塩メニューの作り方・味付けを紹介する。(餐場直美)	15
HA2011-002		B-3	きょうの健康 食で健康づくり！ 栄養バランスとれていますか？	栄養バランスの点では一汁三菜が理想的だが、人によっては調理が大変で毎食用意するのは難しい場合もある。簡単な調理で栄養バランスの良い一汁一菜のメニューを紹介する。(餐場直美)	15	
HA2011-003		B-3	きょうの健康 食で健康づくり！ 野菜を十分とっていますか？	野菜不足によってビタミンやミネラル、食物繊維などが不足し栄養のバランスが悪くなると、免疫の働きが低下し、病気にかかりやすくなる。野菜不足の解消のための簡単メニューを紹介する。(餐場直美)	15	
HA2011-004		B-3	きょうの健康 食で健康づくり！ 肉をとって栄養バランス改善	肉類の平均摂取量は、15～19歳が最も多く、それ以降は減る傾向にあり、40歳代を境にして、肉類よりも魚介類の摂取量のほうが多くなる。魚とは違う栄養素が豊富に含まれる肉を使った簡単メニューを紹介する。(餐場直美)	15	
	●	HA2011-005	B-3	ここが聞きたい！名医にQ うつ病 あなたに合った治療法	現在、日本のうつ病の患者は100万人を超えている。うつ病の症状の特徴とは何か。改善するために、どんな治療法があるのか。3人の専門医を迎え、最新のうつ病治療について伺う。主な内容は「抗うつ薬」「認知行動療法」「ストレスに対する環境調整」の3点。(古屋和雄・乙葉・大野裕・中山和彦・加藤忠史)	54
	●	HA2011-006	B-3	ここが聞きたい！名医にQ あなたの疑問のこたえます！ うつ病	2回連続で放送された「うつ病」について、視聴者から寄せられた相談に3人の専門医が答える。主な内容は、「女性のうつ病」「薬を選ぶポイント」「周囲の人の接し方」。そのほかに「双極性障害」についても解説する。(古屋和雄・乙葉・大野裕・中山和彦・加藤忠史)	54
	●	HA2011-007	B-3	きょうの健康 子どもの行動が気になるとき ①場の雰囲気がかめない	場の雰囲気をつかむのが苦手、対人関係がうまくいかない、興味の幅が狭いなどの特徴をもつ「アスペルガー症候群」とよばれる子どもは、友達から孤立したり、場違いな言動をしたりして非難されることが多い。本人の困り度を減らす具体的な対応策について伝える。(榎原陽一)	15
	●	HA2011-008	B-3	きょうの健康 子どもの行動が気になるとき ②落ち着きがなく衝動的	発達障害のなかで「注意欠如」と「多動・衝動性」という2つの特性をもつており、それが原因で日常生活での困難が著しい場合に「ADHD(注意欠陥/多動性障害)」という診断名がつけられている。ADHDに対する具体的な対応策について伝える。(榎原陽一)	15
	●	HA2011-009	B-3	きょうの健康 子どもの行動が気になるとき ③文字の読み書きが苦手	知能の遅れは見られず、会話での不自由はないが、いくら練習しても文字を読んだり書いたりするのはなかなか上達しない「ディスレクシア(発達性読み書き障害)」。学習障害と呼ばれる中でも多いディスレクシアの特徴と、対応策を伝える。(榎原陽一)	15
	●	HA2011-010	B-3	きょうの健康 Q&A 子どもの行動が気になるとき	「子どもの行動が気になるとき」について、視聴者から寄せられた質問に小児科学、特に小児神経学、発達神経学がご専門の榎原陽一さんが答える。(榎原陽一)	15
	●	HA2012-001	B-3	きょうの健康 運動で健康 ハイキングをはじめよう	今、人気のハイキング。しかし、運動不足の人や初心者の方が、いきなり無理をするとトラブルの原因に。今回は、ハイキング初心者の注意点や安全に楽しむコツについて、慶應義塾大学准教授の勝川史憲さんと専任講師の野口和行さんに学ぶ。(勝川史憲・野口和行)	15
	●	HA2012-002	B-3	きょうの健康 耳が聞こえにくいと感じたら 老化？病気？	耳の聞こえは、年齢を重ねると徐々に悪くなる。老化に伴って起こる難聴を加齢性難聴と言うが治療の方法はない。そのほかにも、治療の必要な病気が原因で起こる難聴もある。加齢性難聴のしくみや治療が必要な難聴について解説する。(細井裕司)	15
	●	HA2012-003	B-3	きょうの健康 耳が聞こえにくいと感じたら 補聴器の最新事情	加齢性難聴が進んで生活に支障が出てくると、補聴器によって聴力を補うことが必要になってくる。最新の補聴器は以前に比べ、小型化や軽量化が進み、聞こえ方に関する機能も充実している。自分に適した補聴器の選び方と補聴器の最新事情を紹介する。(細井裕司)	15
	●	HA2013-005	B-3	きょうの健康 薬の上手なつきあい方 危険なみ合わせ どう防ぐ？	高齢者はかかっている病気が複数で、多くの種類の薬をのんでいる人が多い。しかし薬にはのみ合わせがあり、食品やほかの薬との組み合わせによっては、思わぬ副作用を招くものもある。安全に複数の薬を管理するには、おくすり手帳が便利だ。東京大学の澤田康文先生を迎えて、薬の危険なみ合わせやおくすり手帳の使い方について伺う。(澤田康文)	15
		HA2013-006	B-3	きょうの健康 薬の上手なつきあい方 高齢者の副作用 どう対処？	高齢者はのんでいる薬の種類や量が多いため、副作用が心配だ。副作用を起こした人の割合を調べると、年齢が上がるほど割合が増えていく。なぜ高齢者に薬の副作用が多いのか。リスクが高まる高齢者特有の理由と、その対処方法を専門家に伺う。講師は東京大学の澤田康文先生。(澤田康文)	15
	●	HA2013-007	B-3	ここが聞きたい！名医にQ 寝たきりを防げ！健康生活術	足腰が弱るロコモティブシンドローム(略してロコモ)は骨や筋肉の衰えが原因で寝たきりになるリスクが高い状態のことを言う。最近の研究でメタボリックシンドローム(略してメタボ)とロコモは深い関係があることがわかった。ロコモとメタボの関係と、寝たきりを防ぐ生活術を3人の専門家に伺う。(ドン小西・石橋英明・浦野彦彦・新開省二)	45

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
●		HA2013-008	B-3	ここが聞きたい！名医にQ 寝たきり予防術 あなたの疑問に答えます！	ロコモ状態にならないためには、運動と栄養が大切である。特に高齢者は骨や筋肉が弱り、転倒して圧迫骨折を起こし、その痛みで体を動かさないうえに食欲も落ちるといった悪循環に陥りやすい。骨や筋肉を強くする簡単な運動と栄養について紹介するとともに視聴者からの質問や相談に3人の専門家が答える。(ドン小西・石橋英明・浦野友彦・新開省二)	45
●		HA2013-009	B-3	きょうの健康 このめまいメニエール病？ 危険なめまいを見極める	「このめまいメニエール病？」をテーマに4回シリーズでお送りする。突然めまいが起きるとメニエール病を疑う人が多い。しかし他の病気が原因で起きるめまいもあり、中には危険なめまいもある。シリーズ第1回目は「危険なめまいを見極める」をテーマに専門家が解説する。(鈴木衛)	15
		HA2013-010	B-3	きょうの健康 このめまいメニエール病？ 前触れを見逃さない	耳鳴りや耳の閉そく感を数年前から感じていた人が、突然ぐるぐる回るめまいを繰り返すようになり、受診の結果メニエール病と診断された事例がある。メニエール病は早期診断と早期治療がとても大切である。シリーズ第2回目は「前触れを見逃さない」をテーマに専門家が解説する。(鈴木衛)	15
		HA2013-011	B-3	きょうの健康 このめまいメニエール病？ 治療のポイント	メニエール病が原因の強いめまいや低音域の難聴は、日常生活を送る上でストレスになってしまうこともある。メニエール病の原因の1つでもあるストレスを感じ続けていると、病状が悪化してしまうことにもつながる。シリーズ第3回目は「治療のポイント」をテーマに、メニエール病の治療法を紹介し、専門家が解説する。(鈴木衛)	15
		HA2013-012	B-3	きょうの健康 このめまいメニエール病？ 生活の中でできること	メニエール病対策は「めまいの前兆を知ること」「ストレスをためないこと」「血行を改善すること」「塩分を控えること」など、生活の中でできることがある。シリーズ第4回目は「生活の中でできること」をテーマに、専門家が解説する。(鈴木衛)	15
●	●	HA2013-013	A-3	きょうの健康 うつ病 あなたに合った治療法 軽症なら薬はより慎重に	2012年、日本うつ病学会は、日本初のうつ病治療に関するガイドラインを作成した。番組では、ガイドラインの作成委員長を務めた防衛医科大学校病院院長の野村総一郎さんを迎え、うつ病治療の最新情報をお伝えする。うつ病は、症状の重さ、年齢、もともと性格傾向などの要素で治療方法が微妙に異なってくる。大切なのは患者ごとのうつ病のタイプを見極めた上で、治療法を選んでいくことだという。第1回目は「軽症なら薬はより慎重に」。軽症のうつ病にはカウンセリングなどの精神療法が効果的だという。(野村総一郎)	15
●	●	HA2013-014	A-3	きょうの健康 うつ病 あなたに合った治療法 高齢者もあきらめないで	第2回目は「高齢者もあきらめないで」。うつ病という働き盛りに多いイメージだが、実は高齢者にも患者は多い。高齢者は、体の調子が悪くて憂鬱なのは当たり前と周囲の人に思われて、病気が見逃されることもある。また高齢者のうつ病では、認知症との区別に注意することも大事だ。薬の服用に関する注意や、うつ病予防のために周囲の人にできるサポートなどを紹介する。	15
●	●	HA2013-015	A-3	きょうの健康 うつ病 あなたに合った治療法 “現代型”どう向き合う？	第3回目は「現代型 どう向き合う？」。最近、急増していると言われる現代型と呼ばれるうつ病。「きちょうめんでもじめ、自分を責めてしまう人がなる。」という従来のうつ病のイメージとは異なり、「仕事は無理だが自分の好きなことはできる。周りを責める」という患者もいる。現代型うつ病に効果的といわれる認知行動療法や従来のうつ病治療との違いなどを紹介する。	15
●	●	HA2013-016	B-3	きょうの健康 今度こそ痛み解消！ ひざが痛みだしたら	ひざに痛みを抱えている人は、年齢が高くなるにつれて増えていく。中高年のひざの関節疾患で多いのが変形性ひざ関節症。ひざの痛みの仕組みについて、高知大学講師の池内昌彦先生に伺う。(池内昌彦)	15
		HA2013-017	B-3	きょうの健康 今度こそ痛み解消！ひざ徹底治療 びっくり！運動の効果	ひざの痛みの治療の柱は、運動療法、減量、薬物療法、手術。なかでも運動療法の効果は大きく、ひざの痛みを和らげる治療の基本となる。運動療法の「筋力の強化」「肥満の予防・改善」「鎮痛効果」の3つの効果について専門家に伺う。(池内昌彦)	15
		HA2013-018	B-3	きょうの健康 今度こそ痛み解消！ひざ徹底治療 しつこい痛みも薬で解決	ひざの痛みが強いために運動できない場合は、薬を用いて痛みを取り除くことが必要だが、薬を用いるタイミングは、痛みの程度によって少しずつ異なる。ひざの治療薬について専門家に伺う。(池内昌彦)	15
		HA2013-019	B-3	きょうの健康 今度こそ痛み解消！ひざ徹底治療 自分にあった手術で快適	変形性ひざ関節症の治療では運動療法と減量が基本で、痛みが強い場合は薬を用いる。しかし、こうした治療で痛みが改善しない場合は手術が検討される。ひざの手術について専門家に伺う。(池内昌彦)	15
●	●	HA2014-002	B-3	きょうの健康 正しく向き合う認知症 早め受診がかぎ	認知症は、脳の病気がけがにより記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障をきたす。認知症を起こす原因として最も多いアルツハイマー病の場合、まず物事を順序よく実行できなくなり、料理や仕事などが進めにくくなる。認知症のさまざまな症状や早期発見の方法を伝える。(濱中博久・久田直子・齋藤正彦)	15
●	●	HA2014-003	B-3	きょうの健康 正しく向き合う認知症 進行を遅らせる治療	認知症の多くを占めるアルツハイマー病は、治療を受ける時期が早いほど進行を遅らせることが可能になる。診断は主に、問診で日頃の症状や困ったことなどを確認し、認知機能テスト、画像検査、その他さまざまな検査を行う。アルツハイマー病と診断された場合の治療の方法等を解説する。(濱中博久・久田直子・齋藤正彦)	15
●	●	HA2014-004	B-3	きょうの健康 正しく向き合う認知症 周囲と一緒に生活を維持	認知症の人は、自信をなくしていたり、大きな不安を抱えていたりする。本人の状態に理解を示して無理のないコミュニケーションを図るとともに、認知症とはどのような病気なのかを理解して、本人や周囲の人が心身ともに苦痛のない生活を続けることの大切さを伝える。(濱中博久・久田直子・齋藤正彦)	15
●	●	HA2014-005	B-3	きょうの健康 正しく向き合う認知症 介護の負担を減らすために	認知症の症状である「もの盗られ妄想」「興奮や暴力」「徘徊」に対する対応の方法を紹介し、自宅での介護の負担が大きくなり過ぎ、介護をする人が心身の健康を保てなくなることがないよう、家族全員が協力して介護の負担を分散することの大切さを解説する。(濱中博久・久田直子・齋藤正彦)	15

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
●	●	HA2015-010	B-3	きょうの健康 耳・鼻・のどの病気 最新情報 子どもの難聴	日本では1,000人に1人の割合で難聴の赤ちゃんが生まれている。日本耳鼻咽喉科学会の福島邦博専門医の話では、先天性難聴の半分は遺伝子によるものが原因、残りは感染症や妊娠中のトラブルが原因だという。最近では新生児スクリーニングで早期に難聴を発見し療育すれば、コミュニケーション能力を得ることができるようになった。また最近利用者が増えている人工内耳について、実際に手術を受けた6歳の子どもの例を紹介する。(福島邦博・浜中博久・久田直子)	15
●	●	HA2015-011	B-3	きょうの健康 耳・鼻・のどの病気 最新情報 高齢者の難聴	高齢者に多い、老化によって起こる加齢性難聴。加齢性難聴は、小さい音が聞きづらくなるほか、高い音から聞き取りにくくなっていくことが特徴だ。会話が聞こえづらくなることから、周囲の人とのコミュニケーションが減り、認知症のきっかけになることもある。高齢者の聞こえが悪くなったら、早めに専門医を受診することが大切だ。(福島邦博・浜中博久・久田直子)	15
●	●	HA2015-012	B-3	きょうの健康 大人の中耳炎と難聴	子どもだけでなく大人にも多い中耳炎は、痛くないからと放置しておくことと難聴になる恐れがある。高齢者が、老化による難聴と違って放置しておき、炎症が内耳にまで波及して失聴する例もあるという。60歳代から多くなる滲出性中耳炎は、薬で治療してもよくなる時は、鼓膜チューブを入れる手術で改善することも。回復が困難な難聴に進行する中耳炎には、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、好酸球性中耳炎などがあるが、いずれも聞こえづらくなったらまず受診することが大切だ。(小川郁・桜井洋子)	15
●	●	HA2015-013	B-3	チョイス@病気になったとき 耳鳴りのチョイス	耳鳴りに悩んでいる人は多いが、その原因はさまざま。番組では、「難聴からくる耳鳴り」「失聴にもつながる突発性難聴による耳鳴り」「聴神経腫瘍からくる耳鳴り」「ストレスからくる耳鳴り」の4つを取り上げ、それぞれの事例で選ばれた治療の「チョイス」について解説する。スタジオにJCHO東京新宿メディカルセンターの石井正則さんを迎えて、詳しい解説を伺う。(石井正則)	44
●		HA2016-002	B-3	きょうの健康 正しく理解 高血圧 なぜ血圧が高くなる？	日本国内の高血圧患者は、約4,300万人。高血圧はれっきとした病気だ。放置しておくと、症状のない間に病気が進むため「サイレントキラー」とも呼ばれる。 第1回目は、高血圧の原因や分類、血圧が上がるしくみ、そして高血圧が影響を与える病気について、大阪大学大学院教授の楽木さんにお話を伺う。(楽木宏実・藤田朋子・桜井洋子)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2016-003	B-3	きょうの健康 正しく理解 高血圧 血圧を下げる食事・運動	血圧を下げるための生活習慣の改善で、まず基本になるのが減塩。そして減量、運動、節酒などがある。それぞれを改善することで、上の血圧を4〜5ミリ下げられる。日本は食塩摂取過剰国で、1日に男性は11.1グラム、女性は9.4グラムの食塩相当量をとっている。高血圧の人の目標値は1日6グラム未満だ。減塩に効果的な食事の工夫や、血圧を下げる運動について、楽木さんからお話を伺う。(楽木宏実・藤田朋子・桜井洋子)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2016-004	B-3	きょうの健康 正しく理解 高血圧 自分の血圧を知ろう	3日目のテーマは「自分の血圧を知ろう」。高血圧の治療には、まず自分の血圧を知ることが大事だ。現在は、診察室で測る「診察室血圧」よりも家庭で測る「家庭血圧」を大事にしている。診察室血圧に比べて家庭血圧は、平均で5低い値だ。番組では、正しい血圧の測り方や測る時間などについて解説する。(楽木宏実・グッチ裕三・桜井洋子)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2016-005	B-3	きょうの健康 正しく理解 高血圧 血圧を下げる薬	4日目のテーマは「血圧を下げる薬」。高血圧患者4,300万人のうち、病院にかかっているのは約半数、適切に血圧管理ができていないのは約500万人。血圧を下げる第一の手段は生活習慣の改善だが、それでも難しい場合は降圧剤を服用する。降圧剤が血圧を下げるしくみや、副作用について解説する。(楽木宏実・グッチ裕三・桜井洋子)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
	●	●	HA2016-006	B-3	きょうの健康 心筋梗塞を防ぐ1 狭心症に注意	心筋梗塞は生活習慣病の多い人がなりやすい。特に肥満や糖尿病、高血圧などは日ごろから気をつけることが大切。「狭心症に注意」をテーマに国立循環器病研究センター部門長の安田聡さんにお話を伺う。(安田聡・彦麻呂)
●	●	HA2016-007	B-3	きょうの健康 心筋梗塞を防ぐ2 生活を見直す	シリーズ「心筋梗塞を防ぐ」今回のテーマは「生活を見直す」。 日常生活を見直すことは心筋梗塞の予防になるが、そのための7つの生活習慣をチェックし、国立循環器病研究センター部門長の安田聡さんに解説していただく。(安田聡・彦麻呂)	15
●	●	HA2016-008	B-3	きょうの健康 心筋梗塞を防ぐ3 薬を使う	シリーズ「心筋梗塞を防ぐ」今回のテーマは「薬」。 ゲストの松村邦洋さんは、東京マラソンの最中に心筋梗塞で倒れた。松村さんから当時の様子等を聞き、安田聡さんに治療で使う薬について解説していただく。(安田聡・松村邦洋)	15
●	●	HA2016-009	B-3	きょうの健康 心筋梗塞を防ぐ4 カテーテルかバイパス手術か	シリーズ「心筋梗塞を防ぐ」今回のテーマは「治療」。 心筋梗塞の予防には生活習慣の見直しが基本だ。そして次に症状に応じて薬による治療、さらに重症な場合はカテーテル治療やバイパス手術が行われる。心筋梗塞の治療について安田聡さんに伺う。(安田聡・松村邦洋)	15

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
●		HA2017-002	B-3	きょうの健康 乳がん徹底解説 早期発見	「乳がん徹底解説」と題して、4回にわたり乳がんについて解説する。 第1回目は「早期発見」について。現在、乳がんになる人は増加しており、年間8万人以上が発症している。乳がんは早期発見と適切な治療で治る可能性が高いため、初期の段階でがんを見つけることはとても大事な。早期発見のポイントをがん研有明病院の岩瀬拓士医師に伺う。(岩瀬拓士)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2017-003	B-3	きょうの健康 乳がん徹底解説 手術と乳房再建	第2回目は「手術と乳房再建」について。乳がんの完治を目的とした手術には、乳房を温存する方法と完全に切除する方法がある。また最近では、乳房再建が保険適用となり、全摘してから再建をする人も増えた。各手術の適用の範囲やそれぞれのメリットとデメリット、乳房再建方法の種類について、がん研有明病院の岩瀬拓士医師にお話を伺う。(岩瀬拓士)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2017-004	B-3	きょうの健康 乳がん徹底解説 個別化する薬の治療	第3回目は「個別化する薬の治療」について。乳がんの主な薬物療法には「ホルモン療法」「化学療法」「分子標的療法」がある。乳がんはタイプにより効く薬や組み合わせが決まっている。その人のがんのタイプに合わせて、薬を組み合わせる治療するのが「個別化」だ。乳がんの薬物療法について、がん研有明病院の大野真司医師にお話を伺う。(大野真司)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2017-005	B-3	きょうの健康 乳がん徹底解説 再発したときの治療	第4回目は「再発したときの治療」について。乳がんは術後の生存期間が比較的に長いのだが、早期から転移を起こしやすいため、手術でがんを取り除いても再発の可能性がある。再発したときの治療法について、がん研有明病院の大野真司医師にお話を伺う。(大野真司)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
●	●	HA2017-006	A-3	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる おひとりさまの自分介護 (1)要介護になってもひとりで暮らす	少子高齢化が進む中、単身世帯が増えている。今や75歳以上の男性の10人に1人、女性では4人に1人が「おひとりさま」で暮らす時代。要介護状態になってもひとり暮らしは可能なか?おひとりさまに関する著作のある中澤まゆみさんを迎え、介護保険や在宅医療を活用した「おひとりさま介護」の現実を見ていく。(荒木由美子・中澤まゆみ)	29
●	●	HA2017-007	A-3	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる おひとりさまの自分介護 (2)やがてくる時のために	既婚未婚や家族の有無にかかわらず、多くの人に訪れるのが老後のひとり暮らし。中でも近年特に増えているのが、高齢女性のひとり暮らし。単身高齢者にとって、介護やお葬式、お墓のことなど不安はつきない。おひとりさまの暮らし方を模索するNPO法人SSSネットワーク代表の松原惇子さんをゲストに、さたるべきおひとりさまの老後を考える。(荒木由美子・松原惇子・中澤まゆみ)	29
●	●	HA2017-008	A-3	認知症キャンペーン 認知症介護 家族の悩みにこたえます	認知症の高齢者を介護する家族の負担は大きい。認知症の夫に寄り添いながら介護を続ける80歳の女性や、妻の介護でストレスを募らせる男性などを紹介しながら、家族の悩みを解決する方法を考える。国立長寿医療研究センターの遠藤英俊さんが、認知症について解説し、視聴者からの質問にもアドバイスを頂く。(遠藤英俊・柴田理恵・城戸真亜子)(この番組は、平成27年7月14日に生放送されたものです)	49
●	●	HA2017-009	A-3	認知症キャンペーン 認知症介護 わたしたちができること	厚生労働省の推計では、2025年には団塊の世代が75歳を超え、認知症の人は700万人、65歳以上の5人に1人が認知症になるとされている。とても怖い病気という印象が強い認知症だが、実際は20年30年かけて穏やかに進行する病気で、早期発見可能だ。病気を正しく理解することで、よい経過をたどることもできる。番組では、鳥取大学医学部教授の浦上克哉さんをお迎えして、認知症のイロハを学ぶ。また地域で展開されている「認知症カフェ」などの取り組みを紹介する。(綾戸智恵・風見しんご・浦上克哉)	49
●	●	HA2017-010	B-3	きょうの健康 夏の急病を防げ! 熱中症対策	日本医科大学付属病院高度救命救急センター長の横田裕行さんをお迎えして、熱中症対策について伺う。熱中症は室内にいてもなることが多い。夏は、室内の温度が外の気温以上に高くなることもあるので、室温の管理や水分補給をしっかりと行わないと、室内でも十分熱中症になる可能性が高い。横田裕行)	15
●	●	HA2017-011	B-3	きょうの健康 夏の急病を防げ! 食中毒対策	夏は、食中毒を引き起こす細菌が増えやすい時期だ。いつも無意識にやっていることが、実は食中毒の原因になることもある。食中毒を防ぐ3原則は「つけない・増やさない・やっつける」だ。日本医科大学付属病院・部長(救急診療科)の宮内雅人さんに、食中毒の対策について伺う。(宮内雅人)	15
●	●	HA2018-008	B-3	きょうの健康 うつ病 信頼できる最新治療1 軽症のうつ病	シリーズ「うつ病 信頼できる最新治療」の1回目は「軽症のうつ病」。軽症のうつ病だと、頑張れば日常生活が維持できるため治療が遅れがちだ。しかし、治療をせずに放置することで重症化することもある。うつ病は重症でも早期の治療で治せるので、早めに治療することが大切だ。(渡辺衛一郎・岩田まこ都・黒沢保裕)	15
●	●	HA2018-009	B-3	きょうの健康 うつ病 信頼できる最新治療2 中等症・重症のうつ病	シリーズ「うつ病 信頼できる最新治療」の2回目は「中等症・重症のうつ病」。うつ病は適切な治療で後遺症もなく完全によくなる病気だが、そのためには、家族や周囲の理解と援助が欠かせない。周囲は、治療の過程で病状が一進一退を繰り返しても、一喜一憂せずに、患者を支えていくことが大切だ。(杉山暢宏・岩田まこ都・黒沢保裕)	15
●	●	HA2018-010	B-3	きょうの健康 うつ病 信頼できる最新治療3 子どものうつ病	シリーズ「うつ病 信頼できる最新治療」の3回目は「子どものうつ病」。子どもの対象になるのは6歳から18歳で、特に13~14歳以降は患者が急激に増え、発症率も大人と同じくらいになる。子どものうつ病の特徴と、周囲の大人(家庭・学校)の支援方法についてお話を伺う。(齊藤卓弥・岩田まこ都・黒沢保裕)	15
●	●	HA2018-011	B-3	きょうの健康 うつ病 信頼できる最新治療4 高齢者のうつ病	シリーズ「うつ病 信頼できる最新治療」の4回目は「高齢者のうつ病」。高齢者は、環境的にも体質的にもうつ病になりやすい。また高齢者特有の症状があったり、検査法や治療法も異なっている。高齢者のうつ病について、その特徴をおさえながらお話を伺う。(渡辺衛一郎・岩田まこ都・黒沢保裕)	15
●		HA2019-001	B-3	きょうの健康 敬老の日特集 ロコモティブシンドローム あなたはロコモ?	健康長寿は多くの人の願いだが、それを阻む原因の1つがロコモティブシンドローム(ロコモ)だ。日本語では運動器症候群とも呼ばれる。ロコモの原因や、ロコモがどうか調べるロコモ度テストの方法などについて伺う。(大江隆史・黒沢保裕・岩田まこ都)	15
		HA2019-002	B-3	きょうの健康 敬老の日特集 ロコモティブシンドローム 運動と食事で予防	ロコモティブシンドロームの2回目。ロコモを予防・改善するため、日本整形外科学会が推奨している簡単に行える運動を紹介する。また、栄養のバランスがとれた食事の内容について伺う。(大江隆史・黒沢保裕・岩田まこ都)	15

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
		HA2019-007	B-3	きょうの健康 総点検！目の健康 目かにごる！？白内障 手術の選択	10月10日は目の愛護デー。今回は目の健康について考える4回シリーズ。1回目は、目の病気を早期発見する目的で、目の症状セルフチェックを行う。目の異常がないかチェックして、心配な症状があれば眼科を受診しよう。(大野京子・黒沢保裕・岩田まこ都)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2019-008	B-3	きょうの健康 総点検！目の健康 急増中！近視 最新情報	2回目のテーマは緑内障。緑内障は40歳代の20人に1人、70代では10人に1人がかかると言われる身近な病気だ。だが、自分では気づきにくく、自覚症状が出るのは症状が後期まで進んでからだという。失明の危険のある緑内障について伺う。(相原一・黒沢保裕・岩田まこ都)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2019-009	B-3	きょうの健康 総点検！目の健康 この症状 思い当れば目を検査！	3回目のテーマは白内障。白内障は年をとれば誰もがなる病気だという。最近では手術の技術が進歩して、日帰り手術も行われている。白内障の症状や、手術を受けるタイミングなどについて伺う。(相原一・黒沢保裕・岩田まこ都)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2019-010	B-3	きょうの健康 総点検！目の健康 なぜ気づかない！？緑内障	4回目のテーマは近視。コンピューターやスマートホンの普及で若い人たちの近視が増えている。しかも最近の研究では、近視が目の病気や失明の原因になるとわかり、対策が急がれている。子どもの近視を予防する最新研究と近視の治療法について伺う。(大野京子・黒沢保裕・岩田まこ都)(字幕・手話付き 選択可能)手話表現者:皆川愛	15
		HA2019-011	B-3	きょうの健康 命を守る！ストレス徹底対策1 万病のもと！ストレスをチェック	情報化社会が進むにつれ、ますます大きな社会問題となっているストレス。ストレスに負けない力を身につける方法を4回にわたりお送りする。お話は早稲田大学教授の熊野宏昭さん。第1回目はストレスが心身に及ぼす影響や、手軽にできるストレスチェックの方法を紹介する。(熊野宏昭・黒沢保裕・岩田まこ都)	15
		HA2019-012	B-3	きょうの健康 命を守る！ストレス徹底対策2 体からリラックス	「命を守る！ストレス徹底対策」第2回目はストレス対策実践編。目の周りや肩の力を抜く練習を通して、体の緊張をゆるめる方法を紹介する。(熊野宏昭・黒沢保裕・岩田まこ都)	15
		HA2019-013	B-3	きょうの健康 命を守る！ストレス徹底対策3 行動を変えてみよう	「命を守る！ストレス徹底対策」第3回目は、行動を変えることでストレスの解消をはかり、原因に対処する。前向きなストレス解消法として「コーピング」を、そして対人関係のストレスの原因を取り除く方法として「アサーション・トレーニング」を紹介する。(熊野宏昭・黒沢保裕・岩田まこ都)	15
		HA2019-014	B-3	きょうの健康 命を守る！ストレス徹底対策4 心を「今」に向ける	「命を守る！ストレス徹底対策」第4回目は、めい想を紹介する。わたしたちは、つい過去のことを思い出して後悔したり、将来のことを取り越し苦労してしまう。それを現実のように感じると、それがストレスになる。過去や未来ではなく、「今」に目を向けるトレーニングとして、めい想を取り上げる。(熊野宏昭・黒沢保裕・岩田まこ都)	15
		HA2020-001	B-3	きょうの健康 すっきり解消！ 睡眠の悩み 返上！「睡眠負債」	世界の主要国の平均睡眠時間は8時間30分だが、日本人は7時間22分とかなり短い。内訳を見ると5時間以下の人や5時間から6時間という短時間睡眠の人が増える傾向にある。睡眠不足がもたらす体への悪影響はどんなものがあるのか。睡眠不足を解消するための対策を伺う。出演者:三島和夫・黒沢保裕・岩田まこ都	15
		HA2020-002	B-3	きょうの健康 すっきり解消！眠の悩み 習慣を変えて 不眠を改善	睡眠問題で困っている日本人は3人に1人。眠りに入りづらい悩みを抱えている人は年代による違いはない。しかし、途中で目が覚めたり、早朝に目が覚めてしまうという人は、年代が上がるごとに増えていく。不眠が続くことは体に悪影響を及ぼす。治療が必要な不眠とはどんな不眠なのか。そして自分でもできる不眠の改善方法を伺う。出演者:三島和夫・黒沢保裕・岩田まこ都	15
		HA2020-003	B-3	きょうの健康 すっきり解消！ 睡眠の悩み あなたも予備群？ 睡眠時無呼吸症候群	睡眠中に一時的に呼吸がとまって、眠っていても熟睡できない睡眠時無呼吸症候群。日中の活動に大きな影響を及ぼすと言われている。睡眠時無呼吸症候群の人は、交通事故を経験している割合が普通の人と比べると、3.5倍というデータもある。原因は何か、どんな人がなりやすいのか。改善方法や治療法について伺う。出演者:平田幸一・黒沢保裕・岩田まこ都	15
		HA2020-004	B-3	きょうの健康 すっきり解消！ 睡眠の悩み 不快！ むずむず脚症候群	夜、布団に入ると、あしの中がむずむずしてきて、なかなか眠れない。そんな症状をストレスレグ症候群、一般的にはむずむず脚症候群という。日本人では4パーセントの人に見られ、男性よりも女性に多く、年齢が上がるにつれて有病率が上がる。ドパミンという神経の伝達物質の機能障害と考えられている。症状を改善させるためのポイントなどを伺う。出演者:平田幸一・黒沢保裕・岩田まこ都	15
		HA2020-009	B-3	きょうの健康 そのめまい耳のトラブル！？ まさか？メニエール病	めまいの主な原因は耳の異常、脳の病気、高血圧や糖尿病等の全身の病気など、さまざまなことが考えられる。今回は耳の異常から起こるめまいについて3回シリーズで紹介。1回目は「まさか？メニエール病」。メニエール病は、めまいのほかに耳鳴りや難聴、耳がつかった感じを伴うのも特徴で、進行すると耳が聞こえなくなることもあるため適切な治療が必要だ。特徴や治療の流れについて専門家に伺う。(室伏利久・黒沢保裕・岩田まこ都)	15
		HA2020-010	B-3	きょうの健康 そのめまい耳のトラブル！？ 気になる短いめまい	めまいの主な原因は耳の異常、脳の病気、高血圧や糖尿病等の全身の病気など、さまざまなことが考えられる。今回は耳の異常から起こるめまいについて3回シリーズで紹介。2回目は「気になる短いめまい」。耳に異常があっても起こるめまいの中で最も多いと言われている「良性発作性頭位めまい症」について、症状や治療方法を専門家に伺う。(室伏利久・黒沢保裕・岩田まこ都)	15
		HA2020-011	B-3	きょうの健康 そのめまい耳のトラブル！？ 激しいめまい	めまいの主な原因は耳の異常、脳の病気、高血圧や糖尿病等の全身の病気など、さまざまなことが考えられる。今回は耳の異常から起こるめまいについて3回シリーズで紹介。3回目は「激しいめまい」について。内耳の奥にある前庭神経に異常があると起こる前庭神経炎は、強いめまいと吐き気を生ずるため飲食が困難になり、入院でも治療となるケースが多い。症状や治療について専門家に伺う。(室伏利久・黒沢保裕・岩田まこ都)	15

HB. 健康(性・育児)(DVD)

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
		HB2012-001	A-3	ホンネで話そう 思春期の生と性 中学生編	子どもから大人へ向かう大切な時期の思春期。この作品は中学生に対して、女の子と男の子の体、心や体などの悩み、避妊や性感染症について専門の先生がわかりやすく説明する。	21
		HB2012-002	A-3	ホンネで話そう 思春期の生と性 高校生編	思春期は性に悩む子どもが多い。この作品では高校生を対象に、女性器・男性器のしくみや、受精から胎児の成長、出産について解説。中絶手術の危険性と避妊の方法にも触れ、若者たちが自分の体や性について考えるきっかけを提供する。	21

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
●		HB2013-001	B-3	すくすく子育て すくすく家族の防災対策	番組では、小さな子どもがいる家庭で必要となる防災グッズについて紹介する。また地震などの災害時に子どもを守る姿勢などを紹介。『私の子育て』では、アルビニストの野口健さんの子育てを紹介。また『これも知りたい』では、知らない人に子どもがあいさつするときについてアドバイスしている。(照英・くわばたりえ・野口健)	29
●	●	HB2017-001	A-3	すくすく子育て 発達障害？と思ったとき	発達障害は発達の過程で見られる行動や認知の障害だ。「自閉症スペクトラム」「注意欠陥多動性障害(ADHD)」「学習障害(LD)」の3つのグループに分けられ、それぞれ特有の行動特性がある。発達障害は生まれつきの障害で育て方は関係ない。お茶の水女子大学副学長で小児科医の榊原洋一さんと明星大学教育学部教授の星山麻木さんを迎えて、診断や療育について詳しく伺う。(榊原洋一・星山麻木)	29